



「安中プライド」と「もう一つのプライド」!

1年生も加え、令和3年度の「安中プライド」がスタートしました。特に、全校生徒が、無言清掃(創自)に取り組む姿はとも爽快です。今後も、この良き伝統のさらなる向上を目指して取り組んでいってほしいと思います。

さて、先日の全校集会でも話をしましたが、安宅中には、他校とは違うもう一つのプライドが存在します。それは、チャイムです。なぜ、他校と違うのか。隣の小学校と区別するため?確かにそれもあるでしょう。でも、単にそれだけなら、チャイムの種類を変えればよいのではないのでしょうか。

では、なぜ、オリジナル曲を使っているのか。それは、かつて安宅中学校に勤務していたある音楽の先生が安宅中学校から転勤するときに、当時の生徒の皆さんへの思いを込めて作ったそうです。その先生いわく、生徒が授業や次の活動に入る前に、少しでも気持ちの準備ができるようにとイメージして作ったそうです。また、少しでも余裕をもって授業にのぞめるようにと、チャイムが鳴っている時間も一般的なものより少し長くしてあるそうです。

普段、何気なくあたり前のように感じているものにも、ちゃんと意味があるのです。そんな意味を感じ、自分の成長につなげようとする意識が大切だと思います。皆さんの身の回りにも、きっとそんなことやものがたくさんあるはず。今一度見直してみてください。そして、その当たり前に感謝の気持ちをもつことも大事だと思います。

「小松市総合体育大会」にて

4月17日から5月4日にかけて、各部活動の大会がありました。どの部活動でもチームの勝利を目指して頑張る姿が印象的でした。特に、バスケットボール部と野球部が限りなく優勝に近い準優勝という素晴らしい結果でした。そんな大会での姿でもっとも感動したのは、頑張っている仲間への声援です。試合に出ているかどうかに関係なく、ベンチをはじめ、あちこちから聞こえてくる熱く前向きな声援が大きな力になったことは間違いありません。お互いを思いやる心が培われているからこのことだと思います。まさに、安中プライドの「思いやり」です。加賀地区大会に向けて、さらにチームとしての向上を目指していってほしいと思います。



【無言清掃(創自)のようす】

